

|  |          |
|--|----------|
| 氏名   | 川野 英二    |
| 職位   | COE 特定助教 |
| <p><b>研究概要</b></p> <p>2008 年度は着任して間がなかったが、ヨーロッパと日本を対象に移民政策の比較分析を行い、国際日本文化研究センターの国際研究集会で報告を行った。</p> <p>2009 年度は、本 GOE 次世代研究ユニットプロジェクトとして「都市セグリゲーションと貧困地区における新たな親密圏の可能性」というテーマで、COE 研究員の日下渉、ライカイ・ジョンボル、西川知亨、文学研究科博士後期課程の濱西英司、神戸大学博士後期課程の木場紗綾とともに共同研究を実施した。各メンバーはそれぞれ国内外にフィールド調査地をもっており、とくに貧困層と支援団体を対象とした研究を実施した。また各調査地の統計データを入手し、GIS 技術を用いて社会地図を作成することを試みた。その結果、各メンバーの調査地のモノグラフだけではなく、それぞれの研究を有機的に関連づけ、また各地域の問題やその特徴を比較することが可能になった。</p> <p>本研究の成果は、2010 年 2 月に行われた次世代研究成果報告会で発表している。</p> <p>また、2010 月にはインドネシア・ジョグジャカルタのアカデミック・フォーラムで、Social Integration through Reciprocity in Deprived Area というタイトルで報告した。</p> |          |
| <p><b>教育概要</b></p> <p>2008 年度は GCOE の立ち上げのため、HP 作成など主に教育のための基盤整備を行った。</p> <p>2009 年度は、学部生と大学院生を対象に、「フランス社会学の方法と実践」というテーマで、フランス語のテキストを講読する授業を担当した。とくに、社会学におけるフィールド調査などの方法論に関する文献を読み、参加者の調査課題に応じた議論を通じて、理解を深めた。</p>  |          |
| <p><b>業績リスト</b></p> <p>報告</p> <p>2009 年 1 月 「アジアにおける移民統合政策の枠組みのために」<br/> 日文研国際研究集会「いま構築されるアジアのジェンダー」<br/> 於 国際日本文化研究センター</p> <p>2010 年 2 月 「都市セグリゲーションと貧困地区における新たな親密圏の可能性」<br/> 2009 年度京都大学 GCOE 成果報告会<br/> 於 京都大学</p> <p>2010 年 3 月 Social Integration through Reciprocity in Deprived Area,<br/> 8th Academic Forum ‘To Solve Social Problem Through Art and Cultural Activities’.<br/> Urban Research Plaza Yogyakarta Sub-center.<br/> Universitas Gadjah Mada, INDONESIA</p>  |          |

